

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
東洋医学思想							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	1年	9月集中	東郷 俊宏		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
古代中国の思想・科学を基盤とする東洋医学により人体を捉える思考力を育て、鍼灸師として主体的に判断を行える能力を培うために、東洋医学思想を学び、東洋医学的視点で人体の状態を把握する知識と技術を身に付ける。これにより専門性をもった鍼灸師としてのアイデンティティを育み、国際化に対応できる能力を養う。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	古代中国の医学に起源を持ち、現代では統合医療の一翼として疾病治療のみならず、人々の健康増進に寄与することが望まれている東洋医学(鍼灸・漢方)の歴史を理解する。その中で東洋医学で重視されてきた身体の見方を西洋医学的な診断のあり方と比較しながらその基礎的な考え方を習得する。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・統合医療の文脈において東洋医学に何が求められているかを理解し、これを自分の言葉で表現できる ・東洋医学と西洋医学に共通する普遍的な考え方としてナイチンゲール『看護覚え書き』で記述される「観察」の意義について理解し、自分の言葉で表現できる。 ・2000年以上に及ぶ東洋医学の歴史を俯瞰してみる視点を獲得し、現代の鍼灸臨床に至る大まかな歴史について表現できる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
『看護覚え書き』(F. ナイチンゲール・現代社)、『妊婦は太っちゃいけないの』(高島系子・新潮社)							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チャートテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	イントロダクションー東洋医学の言葉と西洋医学の言葉						
第2回	統合医療の時代と東洋医学						
第3回	患者の観察についてーナイチンゲール『看護覚え書き』と東洋医学						
第4回	近代日本における西洋医学と東洋医学						
第5回	1930年代の日本と「古典」鍼灸						
第6回	中国医学思想の歴史(古代から明代)						
第7回	日本における伝統医学の歴史と治療学(1)						
第8回	日本における伝統医学の歴史と治療学(2)						
第9回	WHO, ISOにおける鍼灸分野の国際標準化と臨床の影響						
第10回	試験(筆記)						
実務経験と本講義との関連について							
京都大学人文科学研究所における東アジア医学史研究(1998-2004)、鈴鹿医療科学大学、東京有明医療大学における研究教育経験(医学史・鍼灸センター実習・医療概論など。2005-2017)							
メールアドレス							
togo-t@nihonisen.ac.jp							